

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名

よしい川

日付 平成 20年 12月 25 日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 ホームヘルパー経験3年
在宅介護経験3年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

さわやかな秋空の下、西大寺駅を降りてタクシーの運転手に行き先を告げると、「吉井川を渡ると直ぐですよ。ここにはねえ…」と、施設の説明に始まって「私の知り合いがお世話になっていました。」の話が終わらない内に「グループホームよしい川」に着いてしまった。一昨年、やはり外部評価で訪問した頃とは、地域の人々との関係もより深いものになっているのかも知れないという予感を抱きながら、ホームに入らせてもらった。

暖かな日差しがたっぷり入っているリビングルームの一角のテーブルでは、利用者の皆さんが額を集めて何やら仕事をしているようだと思うと、挨拶をする私達を酢の香りがふわっと包み込んだ。「美味しそうなお稲荷さんが出来るようですね」と言うと、「そうよ。お腹一杯食べてな」と歓迎の笑顔。実は、昨日「明日お客様なので何をご馳走しようか」の相談もしたり、今日は、朝早くから掃除もして待っていてくれていたそう。管理者に「毎日皆さん、こんなに働かれるのかしら？」と聞くと、「日頃はあまりしたくない人も、お客様の時は張り切るんですよ」との事だ。日常の記録の中でも「あたしがこんな気持ちなのに、そんな事までさせるの？」といったそれぞれの訴え等をとても大切にしている。その人のその時の意志・意欲を最優先に考えようという場面が、今日の訪問中にもたくさん見られた。管理者の「ある程度ホームのうっててとしての日課はあるが、普通の家庭の感覚は持ち続けたい。何かが今日できなくても、いい顔の今日が終わればそれでよしと思っています。」の言葉に、私も大きく頷いてしまった。

しかし、本人の意志を尊重すると言っても自由気ままな暮らしであるだけではない。確かに2年前より活動レベルは下がっているようだが、利用者同士の思いやりや優しさを感じさせるお喋りやちょっとしたやりとり、職員の「その気にさせる上手な誘いかけ」から、以前に増した明るさや活気を感じた。今日、午後の大正琴ボランティアさんのリードによる歌の時間でも、思いがけない大きな声が聞けて、びっくりしてしまった。

また、このホームは三世代交流センターを始めとして多くの関連施設が近くにあり、他では得られないような人との交流が見られるのも大きな特長と言えよう。旭川荘厚生専門学院の学生との関わりも、双方に大きな収穫をもたらすに違いない。

特に改善の余地があると思われる点

社会福祉法人旭川荘という大きな事業の一環としてのこのグループホームの存在や、併設の厚生専門学院の学生の教育にも大きく関わるべき状況である事をよく理解しながらも、職員の勤務形態で常勤が管理者(計画作成担当兼務)1名という事について、管理者の負担の重さを心配して、改善の方向での検討を期待している。

職員の交替が今後予測できるし、利用者の状態の変化も考えられるので、繰り返し見られて把握し易い個別情報メモを工夫して残してみてもはどうだろうか。

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について… 岡山市協働のまちづくり条例に基づく「結びの杜」施設の一つとして、共有している理念「自立」と「尊厳」が大切に守り続けられている。</p> <p>2. 全体的に見て… 入居以前から家族・親族とも問題が生じていたAさんについて、ホームはAさん個人に、そしてAさんの家族に対して特別な配慮をしている。厳しい事を書き綴る本人の「手紙を書く力や満足感」を重視し、この手紙を送る代わりに、「Aさんの笑顔の写真レター」を家族に送って、関係を修復させようという細やかな心配りこそ、このグループホームの敷石ではないだろうか。Aさんは今日、見ず知らずの私に身の上話を聞かせてくれ「自分は今まで何でも思い通りにしてきた。でも年を取ったらそうもいかんようになった。色々思う事はあるが、ここに居て幸せなかもなー」と吐き出してくれた。</p> <p>その言葉の後のAさんの「いい笑顔」がこのホームが目指すものと感じた。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について… 記述 同様に改善項目には挙げられていないが、現在取りかかっている「ホーム周辺の花壇や畑の整備」も着々と進んでいるようだ。今日もマリーゴールドが愛らしく咲き、野菜の植付けも見られた。家族の仕事として、またボランティアの協力を得るための仕掛けをして、利用者と家族・地域との交流の輪をさらに広げていけたらと思う。</p> <p>2. 全体的に見て… 非常に広くゆったりとして見通しも良いリビングルームは、食事、活動用テーブル、テレビを囲んだソファのコーナー、畳コーナー等、落ち着ける場を数多く持つ。一人用椅子もあちこちに見られる。貼り絵やちぎり絵等の力作もたくさん掲示され、日頃の活動の様子が伺われる。色々な積極的な職員からの働きかけもよく伺われる一方、「何をどうしなければならぬ」という事はない。いい顔で1日が終わったらそれでいい」というホームの姿勢が居心地の良い空気を生み出しているのだろう。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について… 利用者の自然な活動レベルの低下については「できなくなった事」より「まだできる事」を常に考えるようにし、改良すべき項目を小さな目標に設定しようとしている。目標は手の届く具体的な事とし、期限を定めて評価も確実にしていきたい。職員皆の中から出てきた提案を一つ一つ積み重ねて欲しい。</p> <p>2. 全体的に見て… ここでは厨房のシンクが「皆さんに洗い物してね」と言っているように設置されており、多くの人が自分の食器を洗っている。食事作りも気合いが入る時は張切る。拭き掃除が好きな人もいて、徹夜仕事に及ぶ事もあるという。一人ひとりの力と経験の発掘は、未だ十分し尽くしたという状態でもないと思うので、今後も本人とのコミュニケーションの中で、また、家族への聞き取りのチャンスも作ってみて欲しい。リビングルームの素敵な作品も増えているので、次の訪問が楽しみだ。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1. 自主評価について… 家族や地域との交流については、私の予感通り年々絆を深めている事実が数多く見られたが、自主評価の改善項目に「さらに具体化し、働きかけのチャンスを改めて作っていかう」が挙げられている。併設の三世代交流センター(デイサービス・子育てひろば)利用の人達や子供達との触れ合いも多くなっており、当初からの目標である地域に根付いたグループホームになりつつあると思う。</p> <p>2. 全体的に見て… このホームの立地条件から住宅街に溶け込むような雰囲気作りは望めないが、反面、敷地内の交流センターや学院の学生、見学者等、色々な人の出入り・交流が多いのを特長と捉えている所が良い。学生のアルバイトもこのホームでは欠かせない状況なので、その長所を上手に生かし、職員の交代によるダメージを最小限に抑えるための方策も取り入れながら、今以上のサービスの向上に向けた努力をしていきたい。</p>		